



各種共通KPIについて

山梨中央銀行

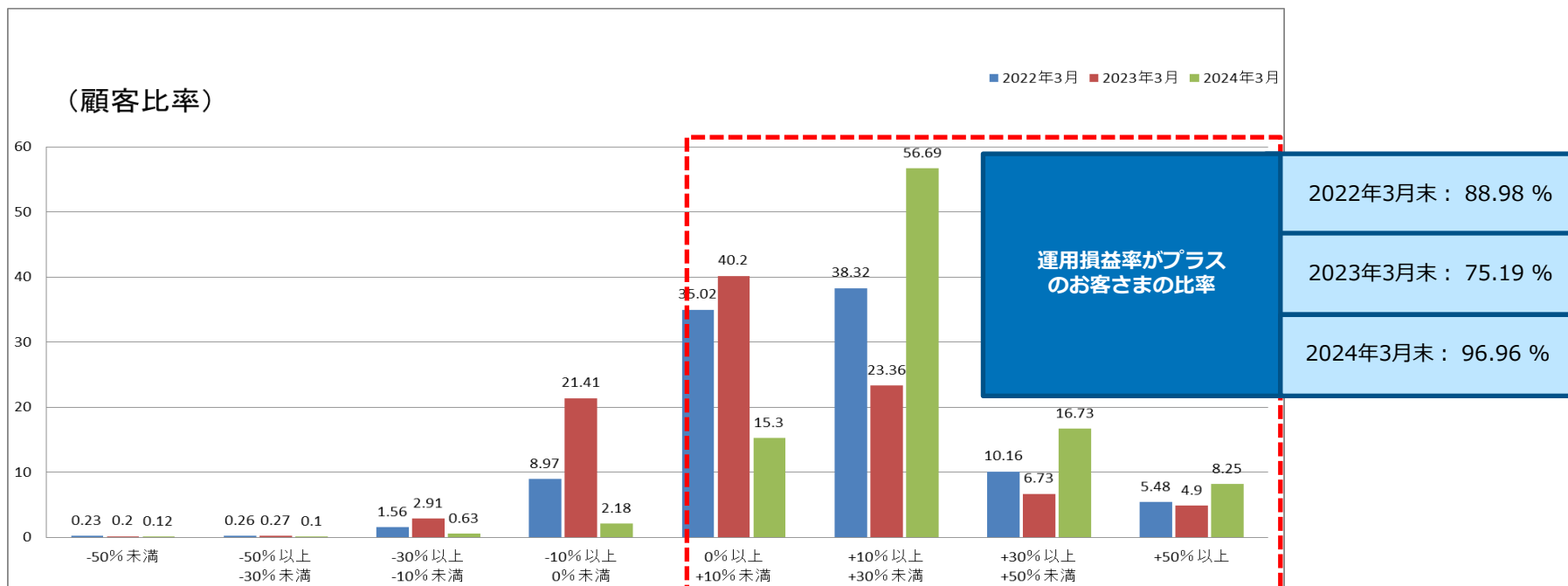
「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の内容

- 2018年6月、お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標として、「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」が示されました。
- 当行では、本KPIの公表を通じて、「お客さまから選ばれる銀行」となるために今後もお客さまへの情報提供と販売態勢の整備に取り組んでまいります。

指標名	内容
運用損益別顧客比率	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係るご購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さま比率を示した指標です。 ・お客さまが保有されている投資信託について、運用損益がどのように分布しているかをご覧くださいことができます。
投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン	<ul style="list-style-type: none"> ・設定後5年以上の投資信託のお預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとにお預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。 ・商品のコストに比べて、お客さまにどのようなリターン実績を持つ商品を提供しているかをご覧くださいことができます。
投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン	<ul style="list-style-type: none"> ・設定後5年以上の投資信託のお預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとにお預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。 ・商品のリスクに比べて、お客さまにどのようなリターン実績を持つ商品を提供しているかをご覧くださいことができます。

運用損益別顧客比率

- 好調な相場環境も奏功し、2024年3月末時点において運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は96.96%となり、2023年3月末と比べて21.77Pt上昇しました。
- 当行では、今後もアフターフォローやお客さまセミナー等を通じた適切な情報提供に努め、お客さまの中長期的な資産形成・資産運用をサポートしてまいります。



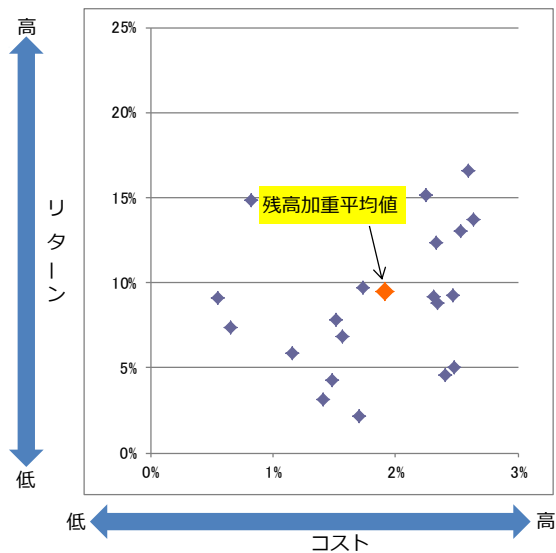
- ※ 対象とするお客さま：基準日時点で投資信託を保有している個人のお客さま
(基準日前に利益確定等で売却したお客さまは含まれません)
- ※ 対象商品：基準日時点で対象のお客さまが保有している投資信託
- ※ 計算式：(評価金額 + 累計受取分配金 + 累計売付金額 - 累計買付金額) ÷ 評価金額

預かり資産上位20銘柄のコスト・リターン

- 2024年3月末時点における、預り残高上位20銘柄のコスト・リターンの関係は、平均コスト1.88%に対し、平均リターン12.91%となりました。
- 2023年3月末時点と比べて、平均コストは0.04Pt減少、平均リターンは4.83Pt上昇しました。

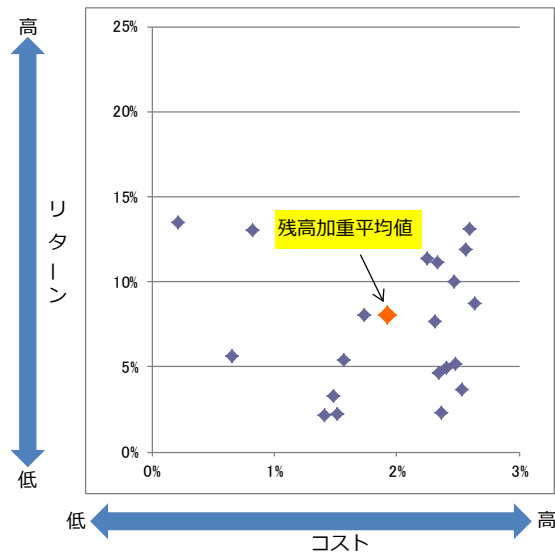
コスト・リターンの関係図

(2022年3月末時点)



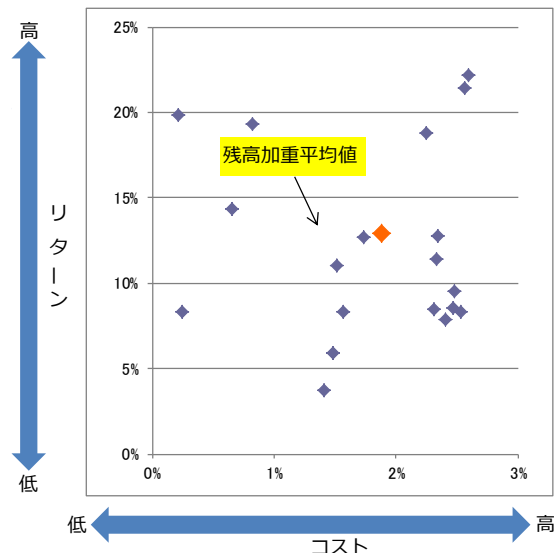
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.91	9.47

(2023年3月末時点)



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.92	8.08

(2024年3月末時点)



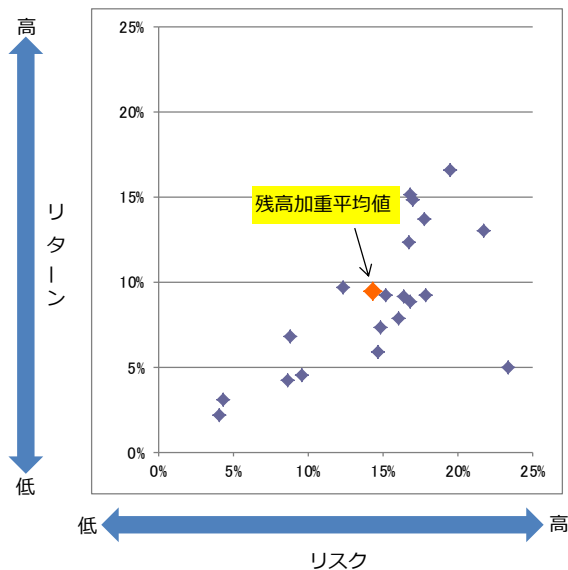
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.88	12.91

預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

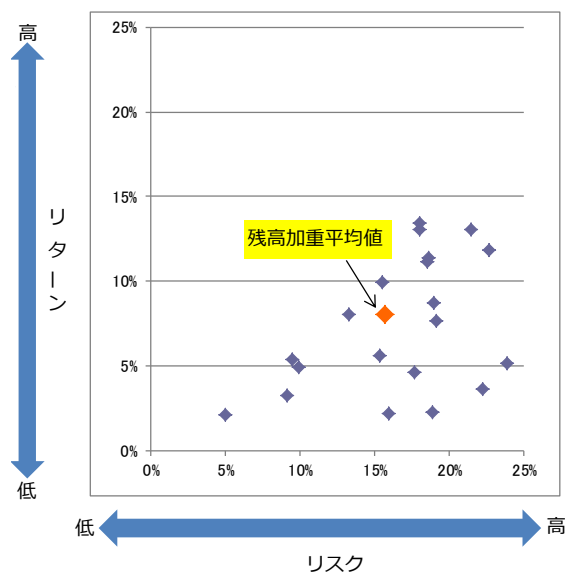
- 2024年3月末時点における預かり残高上位20銘柄のリスク・リターンの関係は、平均リスク15.15%に対し、平均リターン12.91%となりました。
- 2023年3月末時点と比べて、平均リスクは0.54Pt減少、平均リターンは4.83Pt上昇しました。

リスク・リターンの関係図

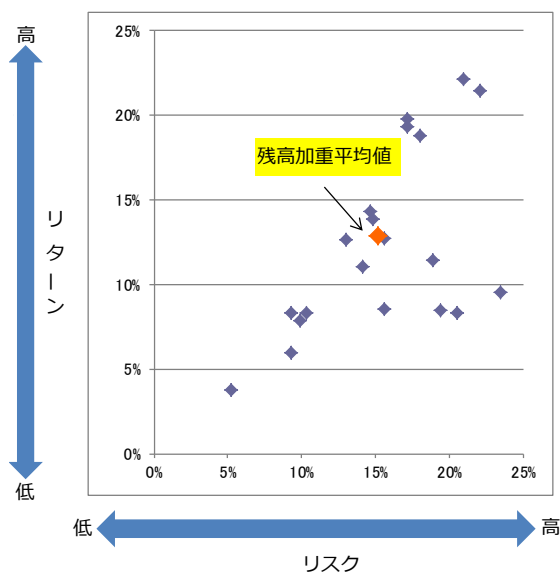
(2022年3月末時点)



(2023年3月末時点)



(2024年3月末時点)



投資信託の預り残高上位20銘柄の一覧

(2024年3月末時点)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	のむラップ・ファンド (積極型)	1.74	12.98	12.68
2	のむラップ・ファンド (普通型)	1.57	9.29	8.36
3	次世代米国代表株ファンド (メジャー・リーダー)	2.26	18.07	18.78
4	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし)	2.33	18.94	11.41
5	野村インデックスファンド・外国株式 (Funds-i 外国株式)	0.83	17.17	19.35
6	グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	2.56	22.11	21.44
7	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.40	9.94	7.87
8	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	2.60	21.01	22.19
9	つみたて先進国株式	0.22	17.18	19.81
10	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
11	フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.34	15.61	12.74
12	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	2.31	19.46	8.47
13	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型) (ラッキー・カンツリー)	2.49	23.50	9.54
14	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.47	15.57	8.52
15	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型 (財産3分法)	1.49	9.28	5.94
16	新成長株ファンド (グローイング・カバーズ)	2.53	20.55	8.35
17	野村インデックスファンド・JPX日経400 (Funds-i JPX日経400)	0.66	14.62	14.32
18	のむラップ・ファンド (保守型)	1.41	5.25	3.76
19	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド (健次)	3.08	14.82	13.85

※ 対象銘柄：基準日時点で設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄
(設定後5年未満の銘柄およびDC専用ファンドを除く)

※ 計算式：

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差 (注) (年率換算)	
リターン	過去5年間のトータルリターン (年率換算)	

(注) 「一定期間におけるリターンの平均値」と「月次リターン」のブレ幅を示す数値です。この数値が大きいほど、「期待したリターン」と「実際のリターン」が乖離する可能性が高いことを示します。

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」の内容

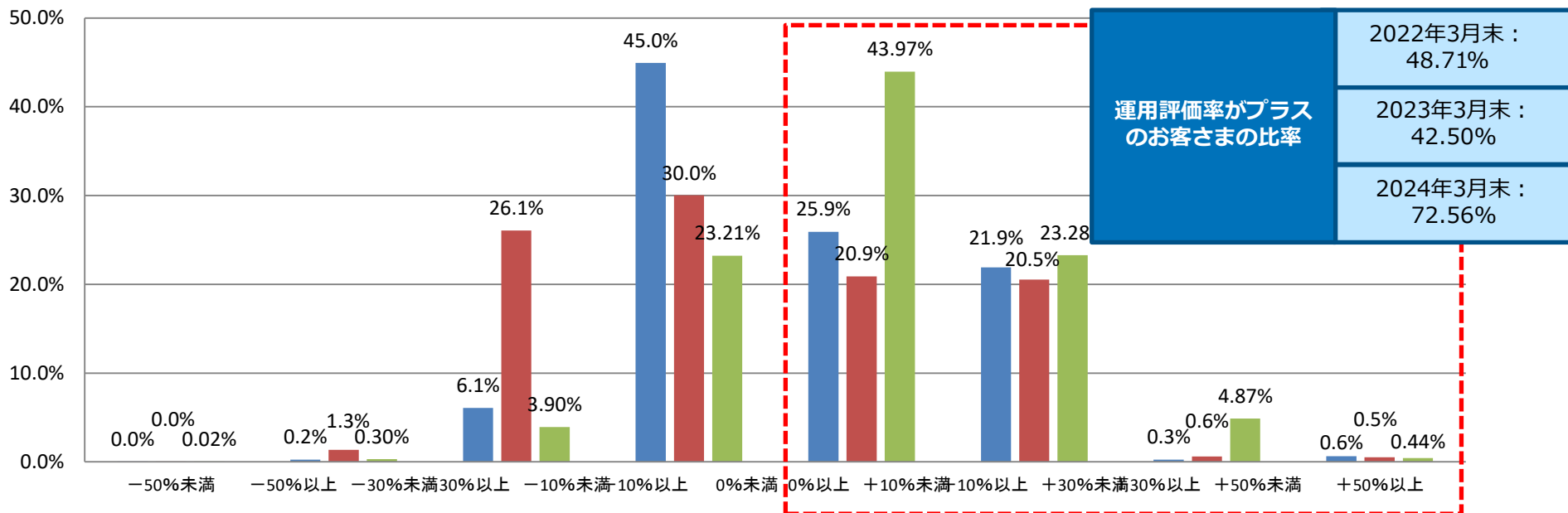
- 2022年1月、お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標として「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」が示されました。
- 当行では、本KPIの公表を通じて、「お客さまから選ばれる銀行」となるために今後もお客さまへの情報提供と販売態勢の整備に取り組んでまいります。

指標名	内容
運用評価別顧客比率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有契約に係るご購入時以降のリターンを算出し、リターン別にお客さま比率を示した指標です。 ・ お客さまが保有されている外貨建保険について、リターンがどのように分布しているかをご覧ください。
銘柄別コスト・リターン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準日に5年以上保有している外貨建保険の一時払保険料上位20銘柄について、銘柄ごとに一時払保険料加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。 ・ 商品のコストに比べて、お客さまにどのようなリターン実績を持つ商品を提供しているかをご覧ください。

運用評価別顧客比率

- 2024年3月末時点における運用評価率がプラスとなったお客さまの比率は72.56%となりました。
- なお、外貨建保険は死亡保障などの保障機能を有していますが、本比率ではこのような保障機能が反映されておらず、投資信託といずれが顧客に有利かを本比率をもって単純に比較することは必ずしも適切でない点にご留意ください（次頁「銘柄別コスト・リターン」においても同様です）。

■ 2022年3月 ■ 2023年3月 ■ 2024年3月



※ 対象とするお客さま：基準日時点で外貨建一時払保険を保有している個人のお客さま

※ 対象契約：当行が保険募集をおこなった契約（但し基準日時点で解約済契約、年金支払いを開始している年金保険は除きます）

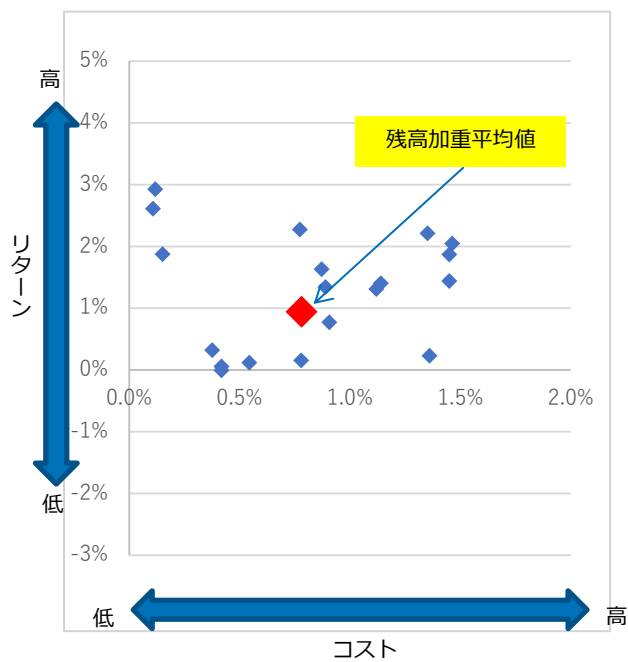
※ 対象商品：基準日時点で対象のお客さまが保有している外貨建一時払保険（外貨建医療保険、外貨建平準払保険および引受保険会社から対象除外と指定された商品は除外しています）

※ 運用損益：基準日時点の円換算した解約返戻金と基準日時点までに定期引出金等の既受入金の合計額を分子として運用損益を算出しています。

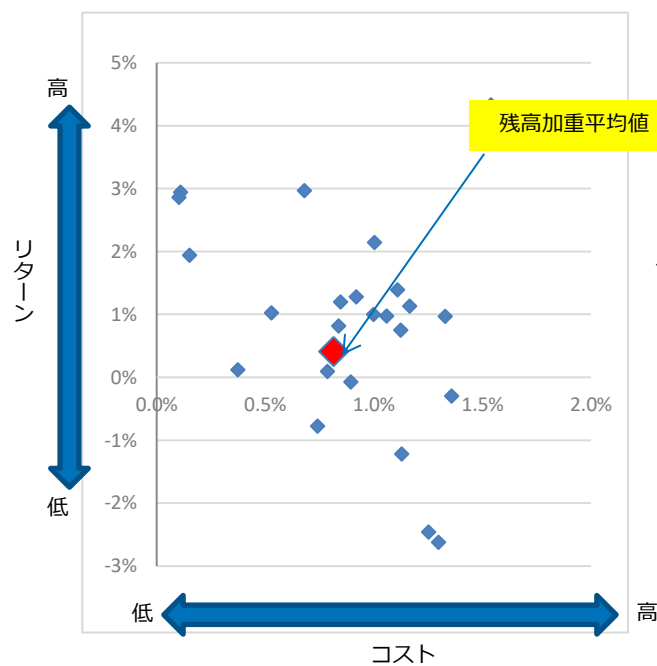
外貨建生命保険の残高上位20銘柄のコスト・リターン

- 2024年3月末時点における、預り残高上位20銘柄のコスト・リターンの関係は、平均コスト0.70%に対し、平均リターン3.70%となりました。
- 2023年3月末時点と比べて、平均コストは0.11Pt減少、平均リターンは3.29Pt上昇しました。

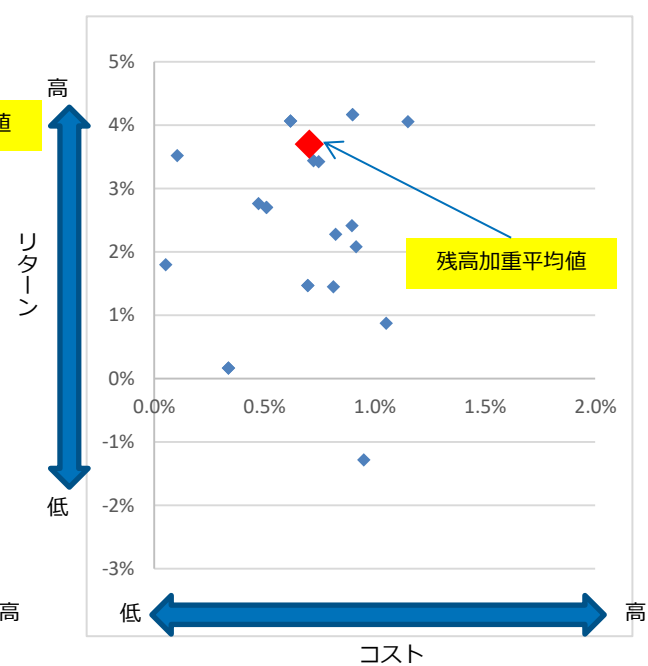
(2022年3月末時点)



(2023年3月末時点)



(2024年3月末時点)



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.78%	0.94%

残高加重平均値	コスト	リターン
	0.81%	0.41%

残高加重平均値	コスト	リターン
	0.70%	3.70%

外貨建生命保険の残高上位20銘柄の一覧

(2024年3月末時点)

No	商品名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ (外貨建)	0.72%	3.43%
2	プレミアプレゼント	0.75%	3.42%
3	ロングドリームGOLD2	0.11%	5.78%
4	たのしみグローバル (指数)	0.90%	4.16%
5	外貨エブラス米	1.21%	6.53%
6	外貨エブラス豪	1.15%	4.05%
7	円貨エブラス米	0.82%	2.27%
8	ロングドリームGOLD	0.05%	1.80%
9	円貨エブラス豪	0.92%	2.08%
10	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	0.81%	1.44%
11	プレミアジャンプ2・終身 (外貨建)	0.95%	-1.29%
12	プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)	0.90%	2.41%
13	ふるはーとJロードグローバル	1.01%	6.17%
14	デュアルドリーム	0.47%	2.76%
15	三大陸	0.51%	2.70%
16	ビー ウィズ ユー プラス	1.05%	0.87%
17	ビーウィズユー (円建)	0.34%	0.17%
18	ビーウィズユー (豪ドル建)	0.70%	1.46%
19	シリウスデュアル	0.10%	3.52%
20	ビーウィズユー (USドル建)	0.62%	4.06%

※ 対象とするお客さま：基準日時点で外貨建一時払保険を保有している個人のお客さま

※ 対象契約：当行が保険募集をおこなった基準日時点で5年以上経過した契約(但し基準日時点で解約済契約、年金支払いを開始している年金保険は除きます)

※ 対象銘柄：外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から5年以上経過した契約が存在する銘柄のうち、基準日時点の残高(解約返戻金と基準日時点でお客さまが既に受け取られている定期支払金等の合計額)の上位20銘柄(当行では19銘柄)です。

山梨中央銀行

